

## 平成 19 年度『市長と語ろう』地域懇談会記録

平成 19 年 11 月 8 日(木) 午後 2 時 00 分～4 時 00 分

【会場】育良会館 【出席者】14 名

【対象地域】上五区・中五区・下五区

担当部	意見・要望の要旨	回答の要旨
建設水道部	<p>上下水道料金について、一般会計からの繰出金ということは、農家も負担しているということか。</p> <p>料金の値上げについては、どれぐらいが妥当かわからないが、負担は止むを得ないのでは。</p> <p>企業会計の赤字を一般会計から補填するのは理屈に合わず、受益者負担の原則を貫いて欲しい。</p>	<p>そのとおり。受益地区以外の方達も負担をしているということ。それを本来的に受益者が負担するかたちに少しずつでも近づけていきたい。</p> <p>日々の生活のもので公共料金でもあり、かなり厳しいものであるが、公平の原則に立って改正していきたい。</p> <p>公共料金の位置づけがあり、採算性に見合う説明と数字を示しながら理解を求めていく。</p>
保健福祉部	<p>学童保育センターの有料化について負担は仕方ないが、緑町は寿司詰め状態。施設整備を図って欲しい。</p>	<p>解消していかなければならないと考えている。旭川地方法務局富良野出張所跡地も検討対象のひとつである。</p>
建設水道部	<p>過去、失業対策で行った排水施設で、トラフに鉄筋が入っておらず、割れてきている。排水路を埋めつつあり、大水のときに、畑が冠水してしまう。早急に改修してもらいたい。</p>	<p>農地・水・環境保全向上対策事業で検討してほしい。是非、地域で知恵を絞って欲しい。</p> <p>(五区 1 号沢川上流)</p> <p>改良区と関係部局との調整、農事組合との意見交換により検討する必要がある。</p>
総務部	<p>地積の国土調査事業を行うべき。</p>	<p>多額の費用がかかるのと、地権者同士の利権を市の権限で調整を行うことが非常に難しい。</p>
市民部	<p>住民登録の住所と行政区域があいまいでは。</p>	<p>行政区域と住民登録は別ものであり、本人の申請に基づいている。</p>
総務部	<p>地域会館、公民館分館など地域の負担のあり方が矛盾している。どの施設でも同じ目的を果たせるようにしてはどうか。</p>	<p>地域会館、公民館、集落センターについては、昨年 4 月より 24 館とも、指定管理者制度の中で、同じ基準で地域に協力いただき運営していただいている。</p>

担当部	意見・要望の要旨	回答の要旨
総務部	<p>地方交付税算定基礎の計算方式で人口と面積の簡単な方法に変わったと聞いたが。</p> <p>交付税について、人口1人当たりいくらか。</p>	<p>居住している密度や農地の利用などの面積が算定の基になっている。実質的には今までと大きく変わらない配分になっている。総務省の試算では28,000千円のマイナス。</p> <p>20万円までいかない。移住について、60歳過ぎて来てもらっても、10年で70歳。医療費もかかる。別荘的なものであれば固定資産も入るが、なかなか難しい。</p>
経済部	<p>東郷ダムは、どうなっている。責任追及は。</p>	<p>国で水漏れの調査中。調査後の時点で話し合いになるが、いまの段階ではわからない。</p>